

患者の皆様へ

2019年4月8日

周産期母性科

現在、婦人科・周産期母性科では、各種合併症妊娠・胎児異常の管理を行っています。今後の診断・治療に役立てることを目的に、今回、緊急帝王切開となった患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「当院における緊急帝王切開 Grade 分類に関する検討」

2. 研究の意義・目的 「当科で行った緊急帝王切開の管理・予後について、周産期およびその後の転帰を検討する」

3. 研究の方法 2006年1月1日から2018年12月31日までに当科にて管理した緊急帝王切開の患者さんのカルテ（診療録）を参照して後方視的な検討を行い、帝王切開の理由、Grade分類（緊急帝王切開の緊急度を分類してコード化したもの）、帝王切開の時間、帝王切開決定から児娩出までの時間、分娩転帰（臍帯動脈血 pH・妊娠・合併症・分娩週数・出生体重・児の状態）、分娩後の経過を検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学病院周産期母性科の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 周産期母性科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院周産期母性科 医師 尾本 暁子

043 (222) 7171 内線6894 (周産期母性科外来)